

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団員用被服整備事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	09	01	02	01	52
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防団員	意図	消防団の服制基準に適合するよう消防団員の被服を更新し、活動性や安全性を高めるとともに、士気の高揚を図る。
事業内容	平成26年度に改正された消防団の服制基準に適合した活動服を全消防団員に貸与します。			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年度から平成31年度の3か年で消防団員全員分の活動服を貸与する計画で、平成30年度は、110着を購入した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	新基準活動服貸与割合		35.36	72.37	%	↑↑↑	新活動服貸与数/全消防団員数
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 3か年で消防団員全員分の活動服を貸与する計画で、平成30年度は、計画どおり110着を購入した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			3,029,360	3,017,240				
事業費(b)(円)			1,686,960	1,698,840				
うち一般財源			1,382,960	1,415,840				
職員給与費(c)(円)			1,342,400	1,318,400				
人役・職員(人)			0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	計画どおり3か年で整備する。	③取組における課題(Check)	随時予算を執行し、早期に貸与すること。
②H30に実施した取組(Do)	計画どおり110着を購入した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	計画どおり3か年で整備する。